

保健センターからのお知らせ

【問合せ】 市保健センター
☎86-8450

子宮頸がん予防ワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンを2月より無料で実施

市では、子宮頸(けい)がん予防ワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンの接種を2月1日(火)より無料(全額公費助成)で実施します。今回のワクチン接種は予防接種法に基づかない任意の予防接種のため、法律上の接種義務はありません。したがって、個人の判断により接種することができます。

◎子宮頸がん予防ワクチン(中学1～高校1年生に相当する年齢)

子宮頸がんは年間15,000人に発症、3,500人が死亡しており、そのほとんどがヒトパピローマウイルス(HPV)の感染によるものです。ヒトパピローマウイルスは性行為により感染しますが、多くの女性が一生のうちに一度は感染する、ごくありふれたウイルスです。

子宮頸がん予防ワクチンの効果は、3回接種すれば十分な抗体が得られます。

ワクチンで子宮頸がんを完全に予防することはできませんが、子宮がん検診(20歳以上が対象)を併せて受診することで高い予防効果が期待できます。

◎ヒブワクチン(2か月児～4歳児)

ヒブ(ヘモウイルス属インフルエンザ菌b型(Hib)のこと)は肺炎、敗血症などの感染症をおこし、中でも重篤な感染症が細菌性髄膜炎です。髄膜炎は年間600人(推計)が発症し、重い後遺症や死亡も報告されています。

ヒブワクチンは、これらの病気を予防するものです。

◎肺炎球菌ワクチン(2か月児～4歳児)

肺炎の原因になる細菌です。他に細菌性髄膜炎、中耳炎、敗血症を起こします。肺炎球菌による髄膜炎は年間150人(推計)が発症し、重い後遺症や死亡も報告されています。

小児用肺炎球菌ワクチンは、これらの病気を予防するものです。

	子宮頸がん予防ワクチン	ヒブ(Hib)ワクチン	小児用肺炎球菌ワクチン
接種できる医療機関 ※市外で実施できる医療機関もあります。市保健センターへ問い合わせください。	秋田クリニック・足達消化器科整形外科医院・いちのせ小児科内科医院・一ノ瀬医院・産科婦人科大橋医院・倉富耳鼻咽喉科医院・酒井小児科内科医院・高宮クリニック・平川クリニック・平田医院・溝田医院・本村産婦人科医院・今村医院・高木病院・よしはら医院・福田病院	秋田クリニック・足達消化器科整形外科医院・いちのせ小児科内科医院・一ノ瀬医院・倉富耳鼻咽喉科医院・酒井小児科内科医院・高宮クリニック・平田医院・溝田医院・高木病院	
副反応	接種したところの腫れ、痛みやおう吐などの胃腸症状が発生することがあります。子宮けいがん予防ワクチンでは、筋肉注射のため筋肉痛が発生することがあります。このような痛みや腫れは通常は数日間程度で治りますが、気になる症状があれば、再度受診をおすすめします。 また、まれに重い反応として、アナフィラキシー様症状(じんましん・呼吸困難など)があらわれることがあります。		
他の予防接種との関係	これらのワクチン接種前に、生ワクチンを接種した場合は接種した日から27日以上、不活化ワクチンの場合は6日以上の間隔をおいて接種してください。		

【予防接種を受ける前に】

- 医療機関へは、必ず2日前の午前中までに予約してください。
- 原則、保護者の同意、同伴が必要です。接種当日はお子さんの健康状態がわかる保護者が同伴してください。ただし、中学1年生以上の接種は、事前に保護者の同意を文書により確認できた場合、保護者が同伴しなくても接種することができます。(この場合、子宮頸がん予防ワクチン予防接種予診票の表裏に『保護者が同伴する場合』、『保護者が同伴しない場合』の2種類がありますので、『保護者が同伴しない場合』の方を記入ください。)持参するもの 母子健康手帳、健康保険証など(住所等確認のため)、予診票(接種医療機関に準備しています) ※母子健康手帳をお持ちでない人は、医療機関で予防接種済証を発行します。

【予防接種を受けた後】

接種後に腫れや痛みなどの副反応が起こることもありますので、接種後30分間は安静にしましょう。接種部位は清潔に保ち、当日は過度な運動を控えましょう。入浴は差し支えありません。

【健康被害の救済措置について】

これらのワクチン接種による健康被害の救済措置は任意の予防接種のため、市が加入している保険や独立行政法人医薬品医療機器総合機構が実施する医薬品副作用被害救済制度に基づき補償します。

●ワクチンに関する情報は、ホームページでも閲覧できます。

◇健康診査・教室のお知らせ◇

◎2月の乳幼児健診(無料)

対象児 ①4か月児(平成22年9月生まれ)②10か月児(平成22年4月生まれ)③1歳6か月児(平成21年8月生まれ)④3歳児(平成20年1月生まれ)

期日 ①2月3日(木)②2月18日(金)③2月25日(金)④2月10日(木)

受付時間 13時15分～14時

場所 市保健センター

◎パパママ教室(無料)

日時 3月13日(日) 9時30分～11時30分
(受付=9時15分～)

内容 パパの妊婦体験、赤ちゃんのお風呂の入れ方など、妊娠中から考えるお母さんと赤ちゃんの健康

持参品 母子健康手帳

場所 市保健センター

※母親、父親のみの参加も歓迎します。

◆インフルエンザいよいよ流行シーズン入り!!

インフルエンザの流行シーズンに入り、特に福岡県では流行発生注意報が出されています。

手洗い、うがい、せきエチケット、ワクチン接種など個人でできる予防をこころがけましょう。



	子宮頸がん予防ワクチン	ヒブ(Hib)ワクチン	小児用肺炎球菌ワクチン
接種期間	平成23年2月1日(火) ～ 平成24年3月31日(土)		
対象者	市内在住で中学1年～高校1年生に相当する年齢の女子 ※高校1年生で、平成23年3月末までに1回以上の接種を受けた人は、4月以降、高校2年生になっても残りの回数を無料で接種することができます。 (高校2年生になって1回目を接種する人は有料となります)	市内在住で生後2か月～4歳児 ※接種日に対象年齢であること ※接種開始時の年齢で接種回数異なります。下表を確認ください。	
接種回数	3回接種 (2回目は初回接種から1か月後、3回目は初回接種から6か月後)	①2～7か月未満児…4回 初回3回(4～8週の間隔) 追加1回(3回目からおおむね1年後) ②7か月～1歳未満児…3回 初回2回(4～8週の間隔) 追加1回(2回目からおおむね1年後) ③1～4歳児の場合…1回	①2～7か月未満児…4回 初回3回(27日以上の間隔) 追加1回(3回目から60日以上の間隔) ※初回3回目の接種は1歳までに完了する。 ②7か月～1歳未満児…3回 初回2回(27日以上の間隔) 追加1回(2回目から60日以上の間隔で1歳後に接種) ③1歳児…2回 (60日以上の間隔) ④2～4歳児の場合…1回
接種料金	無料		

